

本草圖譜

果部

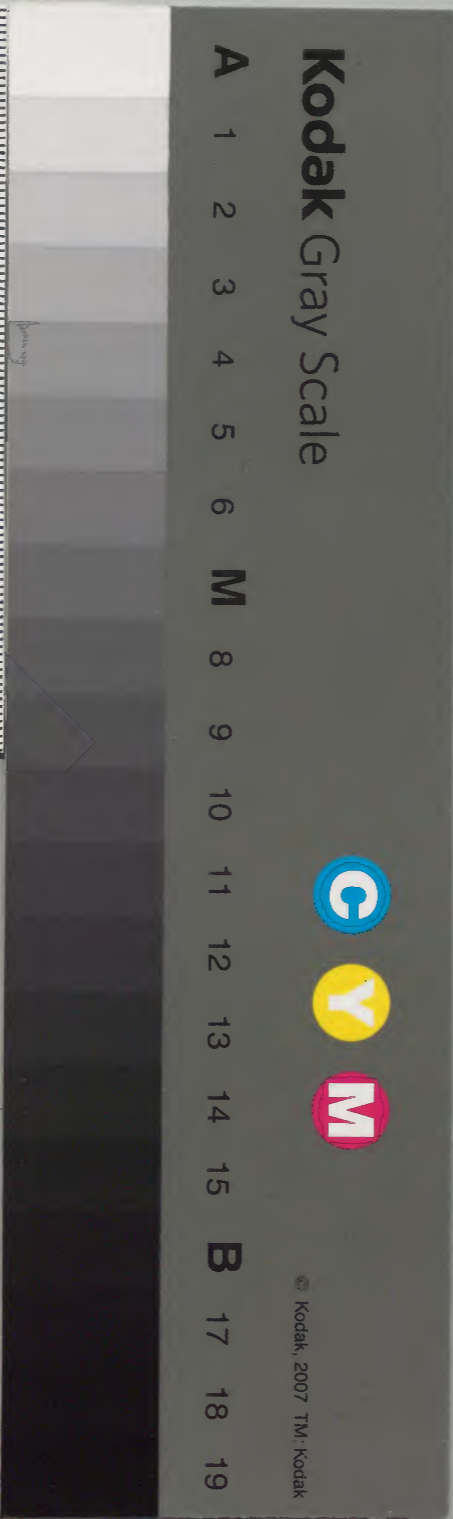
六十四

農商務省
農圖書
第二冊
共

和書門
八四二四
七二
類號函架冊

庫	文	閣	內
九六函架	七二冊	八四二四號	和書類

內閣文庫	
番號	和 8424
冊數	72 (64)
函號	196 190



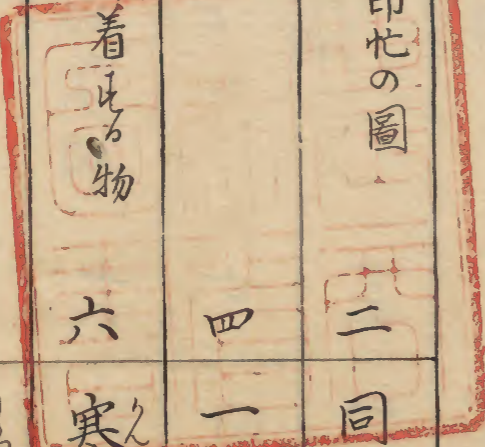
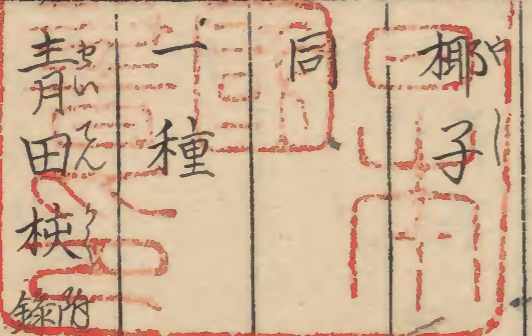
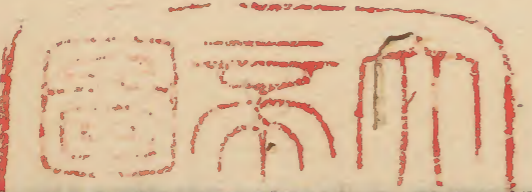
本草圖譜

本草圖譜卷之六十八目錄

明治十二年購求

果部 夷果類

一種	嚴樹酒 <small>附錄</small>	椰子	物印忙の圖	二	同
一種	琉球 <small>琉球</small>	實	漂着 <small>漂着</small> 物	六	寒 <small>寒</small> 瓜 <small>瓜</small> 鮮 <small>鮮</small>
十一種	無漏子	同上	樹頭酒 <small>附錄</small>	貝樹	物印忙の圖
	ありこけ		西瓜 <small>あり</small>	ト <small>ト</small> 子 <small>子</small> ウス <small>ウス</small> の <small>の</small> 圖	五
					三
					八
					九



本草圖譜 卷之六十八 目錄

光椰子	つゞ	十二	同	幹	十二
同	実	十三	同	物印忙の図	十四
海木麩	不詳		波羅蜜		十六
同	物印忙の図	十八	同	同上	十九
同	同上	廿	同	同上	廿一
無花果	いちく	廿三	一種	志ろいちく	廿四
文光果	不詳		天仙果	ろせんいちく	廿五
一種	もつろがく		一種	ヒキユス	廿六

一種	こーやと	廿七	一種	あめう	
古度子	ふえのき	廿八			

本草綱目 卷之六十八 巨金 二 漢名 附

本草圖譜卷之六十八

東都 岩崎常正 著

男 岩崎信正

門人 小山廣孝 校

果部 庚果類

本草圖譜

卷之六十八

二

椰子

ココス 罽 英寸アーンセセイトト 蘭

パルマイチカ 同 酒 樹 類 確 矮 胡 名物 方言

楮 牙 通 哥 具 東西洋考 呂宋方言 無 葉 齊民要術 引神異經

倚 驕 同

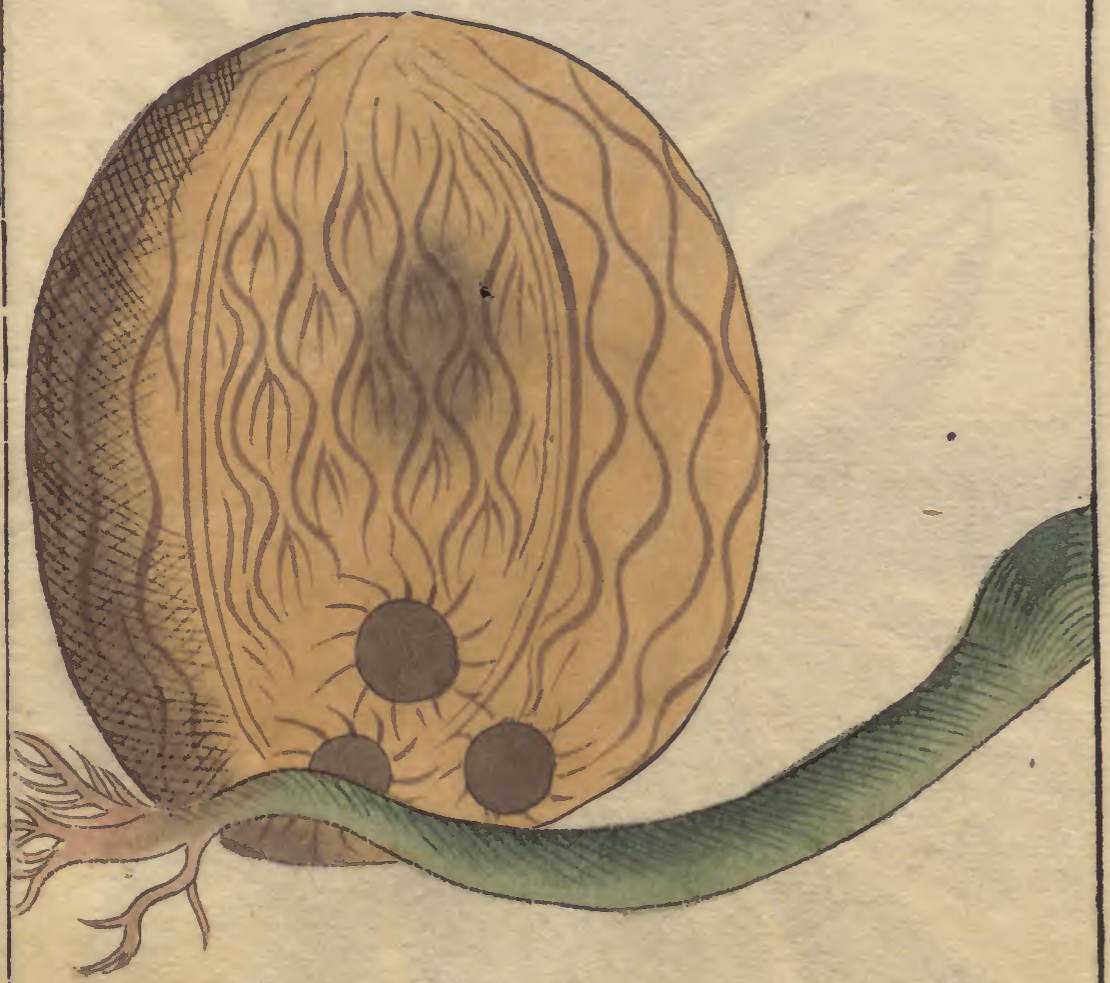
暖國の産あり無人島一名小生樹あるよりこの實房州豆
川八丈島四國佐渡其餘海濱不漂流一来るを拾得拾得之の
あり其初生より全形和蘭の書物印忙不圖あり初生ハ若
葉小似て三四葉互生に根小椰子を附以老樹ハ幹ハ肥大
あり高く聳ハ樹皮灰白色処々節ありて羅紋ハあり頂ハ

葉を生じ数葉叢生一其葉ハ形鱗ハの如くありて長一先四
五尖りあり葉の本小花を生じ二瓣相合ハ其一瓣荷の花
瓣の如く開く時ハ中より穂を生じ数花ハ積生じ四瓣黄白色
あり実の大き圍り一尺長さ四五寸外皮ハ棕櫚をつぬる如く
皮を去るととき殻堅く厚く羅紋ありて本小三孔あり紙名小
越王頭ト云この殻をニツハ割て盃ハ作る殻中ハ肉あり白色小
しそ夥ハ南蛮蠟ハ似たりこれ椰子ハ割之其中ハ空ハあり水あり
これを椰子酒又椰子糖と云又其中小桃実の如き物あり是
椰子ハ心あり椰子油ハ虫流の外科ハ多く用内荷蘭ハ小ターテル
ヲーリー又カラツフルとも云これ杖中の肉ハありて脂液の凝ハる
ものありこれを煎して油を採り用内能金瘡腫物の肉を
あけ愈ハ



椰子

物印忙の載る初生の図



同



本草綱目 卷之六十八 三

物印忙
載る木立
の圖



本草綱目 卷之六十八 口 雜

本草綱目 卷之八十八 四一 津原野

同

矣

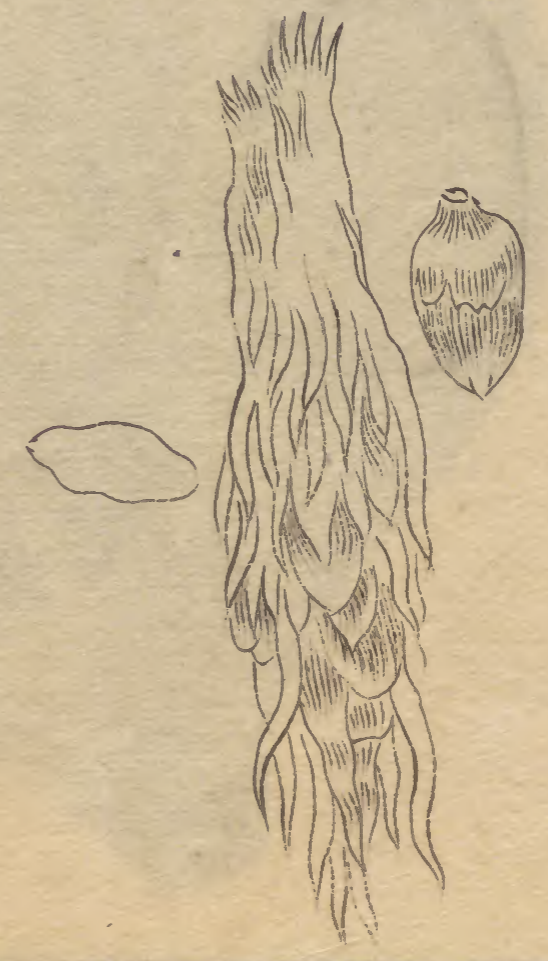


本草綱目 卷之八十八 二 津原野

一種

ウミヤシホ

ト子ウスハ載る図又
海濱へも漂着ハ形ヲ椰
子より小く二寸許リ圍リ
二三寸外皮ハ椰子と同
内子堅キ仁ありて中実
仁を削りて蒸菜用ハ
中風を治ル如あり價
賤クハ田村氏ハ廣東
新語の石椰子ハ慈フ



一種

これ亦海濱へ漂着レ
るものあり形椰子ハ
似て短く長さ三寸許リ
圍リ五六寸四角ありて
碁盤の足ハ似たり故
ハニんのおと各々
これ又椰子の類なり

寒く氏集

西氏之



本草綱目卷之六十八
雜木類
青田杖



青田杖
録附



本草綱目卷之六十八
雜木類
青田杖

物印忙小載る椰子の類ハハルマタクナリペラ罐ダーテルボム
和其形ハ棕櫚小似て毛あく火蕉の如き鱗甲あり頂小葉
を生ハ其葉の形攢椰小似て長一葉の本小房をあて実
を結ふ実の大き胡椒の如く黄褐色桃小似て細く漢土
小ても椰子の類小附はるものあれハ恐らくこの類ある

樹頭酒録

註小貝樹といへり此貝樹ハ即多羅樹ありこの実より採る酒之昔
天生小て梵字を以て經文を書はる多羅葉これあり今俗小多羅
貝樹ハ大ハ異なれ属この葉蘭人稀小持来り又唐さんとの向小狭して稀
小渡ることあり寺院什物と云ふものハ梵文を書はるものなり葉全き
このハ長さ四五尺濶さ五寸許小て厚く枯て褐色あり中ハ大筋あり脉
こみ縦小とをりて萬年青の葉の如く翻譯名義集小西域記を引
て南印建那補羅國北不遠有多羅樹林三十余里其葉長廣其
色光潤諸國書寫莫不采用と云古今註小緬人取其葉寫書ハ
と云これハ蘭山説小この葉を堅小細く切席小織たるをアペラ瑞
轉と云と云東西洋考小貝多羅草と云これハ物印忙椰子の属
の中ハハルマギユイ子レンスヒニハ罐ウエインケ一ニケハルムボム
と云とのあり樹皮滑澤小て芭蕉小似たり樹の頂小葉葉叢
生ハ其葉長小て先圓く萬年青小似て長大又洋葱葉小似て小
似て又尖ハ葉中房をあて実を結ふ大き一寸余圓く長あり

褐色之この物 恐く樹頭酒や 即貝多羅樹みん この葉子て織
たるをアノヘラと云ハ 甄名ヒニヘラより 轉したる歟

物印忙小
載る圖



蘇州園譜
卷之六
六十一
蘇州園譜

無漏子



一種

琉球
そとろ



一種
そとろ

蘇州園譜
卷之六
六十一
蘇州園譜

林檎園記 卷之六 洋國



無漏子 そつものこ

火蕉 物理 小識

蘇鉄 中山傳 信録

鐵樹 同上 各多

暖國小 寒國小 因て 駿州房州薩州小 樹高さ丈余 二三尺枝あり皮赤 鱗甲を あり頂小 葉を生ひ 貫衆に 似て 長大之 暖地小 花を生ひ 形松 毬小 似て 長さ二尺許り 黄褐色 別小 実を結ふ 実の 莖鳥 の足小 似て 黄褐毛あり 其小 元小 実を結ふ 三五顆形 塩梅小 似て 扁 朱紅色内小 梗ち 銀杏小 似て 大小中に白色の仁あり 生ふ 食ふ 味ハ 胡桃 形小 似たり 以て 饑を 助す

一種 琉球 そつもの

琉球古米嶋 又大嶋小 あり 幹瘠 瘠て 枝多し 葉細く 短し 盆栽として 玩賞ハ

一種 志ろこけ

幹瘠て 細く 鱗甲白色なり 美い 藤の これ亦琉球の産なり

園圃記 卷之六 洋國

林業園譜
卷之六
十一
洋園

枕
椰子
つぐ



林業園譜
卷之六
十一
洋園

本草綱目 卷之六十八 雜草類 蒲



同
幹こき

元漢種之又琉球りゅうきゅうも産り享保年中西土の種八丈島へ栽させ
れ今大樹とある一幹直立し枝あり櫻櫛の如く葉もまき櫻櫛の
似たり形臭の鶯の如く尤右に附し大なる葉ハ一葉を一人みて能く
葉の間小穂をみて実を結ぶ形櫻櫛に似たり地小下りて能く
生り樹皮の毛櫻櫛より太く淡黒色之其毛を以て刷子しり子こ作
るこれを片ぐまけと云又大船の頭へ附け或ハ船の繩つなとあり



本草綱目 卷之六十八 雜草類 蒲

本草綱目 卷之九十八 十三 灌園



同實



本草綱目 卷之九十八 十三 灌園

本草綱目
卷之六十一
七十四
灌園

同
ハクヘル羅

物印忙子
栽万圖



本草綱目
卷之六十一
七十四
灌園

本草綱目 卷之六十八 五洲園

波羅蜜 榮蘭 鳳梨 露頭花

阿咀 阿咀 録傳信 アナ、ス 印忙

文政六年琉球種薩州より来る葉の形蘆薈に似て肉を漸く硬く舟底の形をあり脊ありて葉の如く一寸餘長さ二三尺周りに刺あり葉の背の脊小逆刺あり葉の落たるあと節をなして朱蕉破兒に似たり根の傍より芽を生じ甚寒を恐る蘭山の説に此品初め葉生して萬年青の如く刺多し薩州にて榮蘭と呼び琉球にて阿咀咀といふ年久しうて丈餘の高さ小

あれ、実を生じ其実、外の周圍に六角あり堅き 杖あり其杖の根、各長き毛あり墨を染て文字を書き、一俗小あたんとてと云即ち木生毫是之其毛ある方を内にて数多く並ひ付て丸の形をあり杖杖をとり、さるときハ中心子輕虚あり、穰残り味ひ甘美、やて食用といふ今器中不漬するハ此穰ありといへり

本草綱目 卷之六十八 五洲園

蘇芳圖譜

卷之六

蘇芳



同

蘇芳圖譜

卷之六

蘇芳



蘇芳綱目

蘇芳綱目

蘇芳綱目



蘇芳綱目

蘇芳綱目





物印忙小
載る圖



実佛も柑の大き或ハ甜瓜の
 大きあり和蘭本草小肉柑
 美香甚佳人齒を先出血
 此とあり砂糖漬と食て
 胃を強し陽氣を盛む紋
 酒小釀以孕婦ハ妄小用へ
 らんといふ



同

同上
載る圖



本草綱目
卷之六十八
雜類
十九
澤蘭
赤

本草綱目
卷之六十一
世
濟世園

同

同上小
載方圖



本草綱目
卷之六十一
世
濟世園



同

同上小
載石圖



蘭語
 卷之六
 花
 同
 同上小
 載石圖

本草綱目 卷之六十八 果部 桃

無花果

いちじく

一熟の義ありて熟の枝の實百ありて熟の

とうがき 田

ヘイゲボーム 蘭和

映日紅 典籍 便覽

蜜果 群芳譜

仙桃 三才圖會

青桃 同上

寛永年中西南洋の種を得て長崎小裁りて大和本草小
ズリ樹高さ三尺許り葉ハ構葉小似て大なり厚く搥法
背白色を帯ふ葉を切ハ白汁出て乳汁の如し一圓莖節あり
枝幹の中心空あり夏月舊枝の節間小一果を生じ乳
頭小似て大なり長さ二寸許り下垂れ熟せりて落これ花
あり花と実と形相似たり也小古人無花果とい秋不至りて

葉の間小と小一果を結ふ大き一寸餘頭圓くして平小尾尖なり
一日小一果熟れ故小名く熟れハ紅紫色自ら烈て内小肉
あり雞冠花小似たり味甘しこれを食ハよく痔疾を療
れ又葉を末と服するも良し

一種

ちろいちじく 薩

葉ハ鶏桑葉小似て大なり厚く又いちじく小似て刺缺深
く実の形無花果小似て熟して淡緑白色味ハ甘し

本草綱目 卷之六十八 果部 桃



無
果
花

本草綱目
卷之六十八
木部
無果花

一種

志ろいちぢく



天^{てん}仙^{せん}果^{くわい}録^{ろく}附

とうせんいちぢく
あんきんいちぢく
いぬむこ

細葉短葉の二種あり
東國小短葉多々柿
の葉小似たり西國小細
長葉の物多々幅一寸長
四五寸之樹皮無花果小
似て枝細く二種とも夏月
葉の間小花ありて実を

結ぶ形無花
果小似て至て小く
熟れば紫黒色
味ひ甘し



本草綱目卷之八 果部之八

本草綱目卷之八 果部之八 七十四 洋柑

本草綱目 卷之... 七十五 洋行園...

一種 もつろろく 尾

ちよき 伊勢

ヒクニス 和蘭

葉のつりふふ似て
長く眠無花果小
似たり木も亦同



夏葉の間小花
ありて実を結ぶ
大き脂頭の如く
熟れば淡紅色
あり

一種 ヒキニス 籠

ト、子ウス小載る
圖此木高き枝下
岳々地小附く時
ハ根を生け其間を
人往来いといへり



本草綱目 卷之... 七十五 洋行園...

葉ハ冬フユ青アヲ小似コニて厚アツク互生オトナリ一秋葉の間小コき実ミを結ムスぶ形無ナシ
 花果ハナミ小似コニたり熟マツルして紅色ベニあり此木高タカき枝下シノ出デて根ネを生ナす
 終オシ小大木コオホキとある



ガラマル球ヒキユス荷人イ
 赤ベニ榕ヨウ海物異名志科樹科樹書書



一種一種 さくやとサクヤト 薩サツ
 根樹根樹 花花 芦芦

廿六
 一
 澤
 園

本草綱目 卷之六十八 木部 樹木類 廿七

一種 あかり 薩州 紀州

あこぎのき 上同
あこぎのき 肥前



あこぎ 草天

沈香木 江戸 花戸

ワイーグス 蘭人シイ ホルト

ウラルチルボーム 荷蘭葉 諾箋

榕樹 嶺南藥木 閩書南山志

陰樹 南方草 木状



葉ハ内張り葉小似て短くまろ
びん樹の葉小似て尖りかく
深緑色やして厚く秋小至りて
花かへて枝幹又根をこみ舊
皮まも多し実を竹族附けり
其他木の枝梢小しかり実を
結ふ小異ふれり形天仙果小
似て大き梧桐子より肥大こ
此との元産地未大樹
をこ此又土州紀州小もろ
よ薩州小て此樹へ生けり
木耳をあかりかいとより

本草綱目 卷之六十八 木部 樹木類 廿七

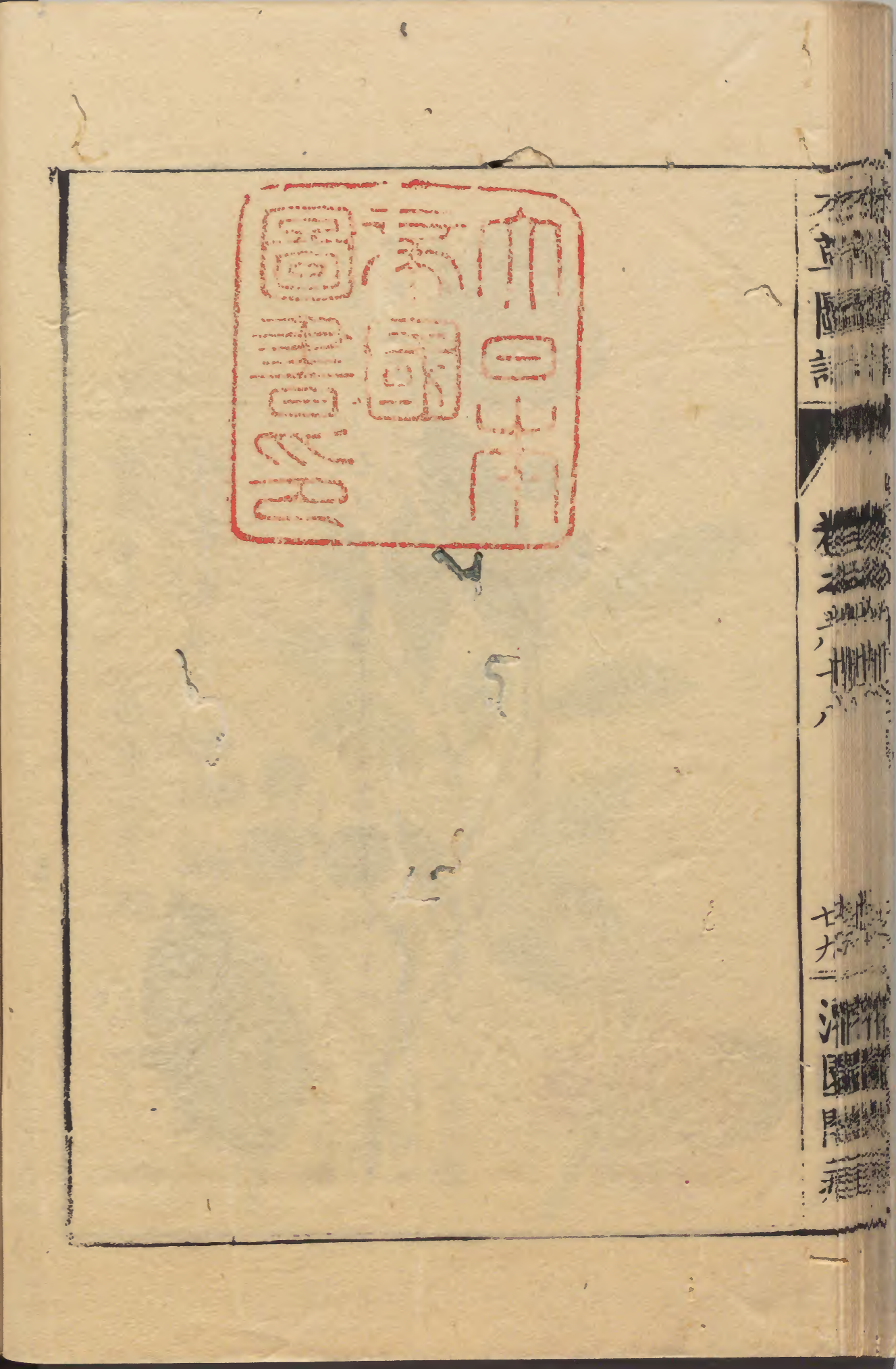
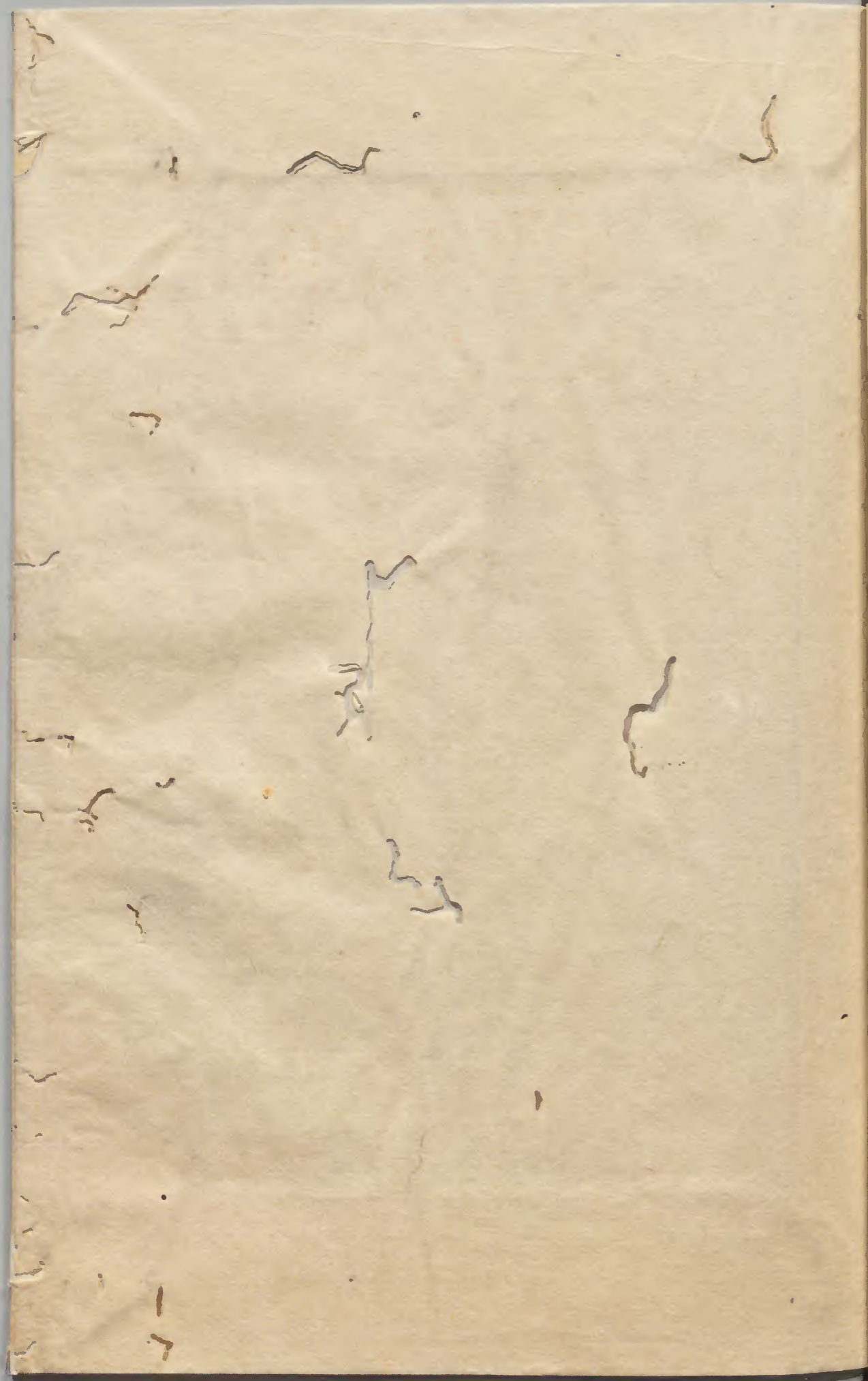
古ニ度ハ子ノ録付

心ハえノのキ



かまもち 心ハえノのキ 筑前
 蚊ノ子ノ木ノ下ノ 蚊ノ母ノ樹ノ下ノ 蚊ノ母ノ鳥ノ
 柁ノ録北

西國ノ多ク藤ノ籬ト多ク葉ハ冬ノ青ク似テ冬ノ凋ル春ノ月ノ葉ノ間ノ小ノ紅ノ花ノを開き小黒ノ実ノを結ふ別小ノ枝ノの間小ノ形チ無ノ花ノ果ノ小ノ似テ中ノ空チ大ノ母ノ指ノの如き物を生じこれ虫ノの巢中ノ小ノ虫ノあり葉小ノ疔ノを生じ微紅ノ色ニれ又虫ノの巢あり此様色を附て柳小ノ作ル



Red square seal impression containing Chinese characters in seal script, likely reading '國立公文書館印' (Seal of the National Archives of Japan).

Vertical column of black ink markings on the right edge of the page, including some faint characters and a large, dark, irregular smudge.

